

立作大郎 タテノリ 國際法學・外交史學者、法學博士。明治七年二月十五  
日東京麹町五番町生れ、昭和十八年五月十三日歿（一八七四—一九四三）。  
トモのりと嘉度の子、本家伯父の養子となる。明治二十年帝國大學法科大學政  
治科卒。二十二年歐洲留學、二十七年東京帝大法科大學教授。大正八  
年パリ講和會議、十年ワシントン會議に隨員參加。外務省・海軍省の  
國際法顧問を務めた。

著書に、『グヰイクトリア女王イイギリス王室の政治上及び外交上の活  
動』、『書簡集に現はれたる和和文』

問題——立作大郎博士論文並英佛關係條約及公文書』（昭和八年四月）  
『國際聯盟協會——國際聯盟協會叢書』（一）、『現實國際法諸問題』（昭

和十二年六月—十五年岩波書店）『東大法學部特別講義國際法學叢書』（一）  
等。

